

## 古座川スローライフ（2004.08.29）

### I．根木先生（古座川文化保護会，紀州語り部の会）のお話から

- 1．昔は，非常にゆっくりしていた，ゆっくりせざるを得なかった  
いい加減さもあったが，特に問題はなかった
- 2．適材適所での生活物資  
例えば，米食ではなく，麦飯，茶がゆ
- 3．無駄の排除（水，食料，燃料）  
徹底利用，そのためのメンテナンスの重要性  
子どもが生活に関われるチャンス（役割）が，簡単な仕事の中にあった  
子どもの学校での勉強でのスキルアップによって役割の幅も広がる
- 4．工夫をせざるをえない状況が，世代を問わず，知恵を産みだした  
学校や仕事で学んだことを実生活の中へ反映させていた  
知恵を用いることは，結果的に省資源へとつながった
- 5．物質がなくとも，快適性は確保されていた  
ちょっとした工夫で，環境負荷も出さずに豊かさを実現していた  
例えば，涼しい，暖かい生活を支える家屋と調度品
- 6．本質を大切にしたライフスタイル  
例えば，最初から汚さない場所（神棚で保護）と，やむを得ず汚してしまうが片づけることで管理する場所を区分
- 7．使い回しでも機能が足るものは，それで良しとした生活  
例えば，おさがり，道具の共有（家族，一族，近所・・・）

8．文化的資材（例えば藁）の有効活用

藁は、何にでも姿を変えて、カスケード利用した  
燃料が最後ではない 灰を洗剤代わりに、最後は肥料に

9．助け合うことの重要性

地域社会が持続する要件

10．本当の豊かさは何か？

11．何よりも昔の暮らしの実践の結果，長寿！

II．参加者の自己紹介

Aさん（和歌山市）

初めての古座川滞在  
美しいランドシャフトへの感銘  
天気が残念  
思い出はできた，楽しかった  
子どもと時間が持てたことが良かった

Bさん（和歌山市）

初めての古座川滞在  
心の触れ合いに安らぎを覚えた  
稲刈りなど，バーチャルな知識が実体験になった 農家の苦勞を体感  
職員の方への気配りに感謝

Cさん（和歌山市）

地元の皆さんの古座川への誇りに関心  
この体験を子どもが引き継げたら良いと感じた  
スローライフと環境への配慮を実践した

Dさん（和歌山市）

小川をカヤックで川下りしたことがあった  
今回は天気が残念だったが、今後に期待

Eさん，Fさん（和歌山市）

子どもたちが喜んだことが良い経験となった  
地元，関係者の方に感謝  
古座川の美しさに子どもも感動  
また，機会があったら来る！

剣道部高学年さん

子どもが「癒し」をコーチに要求した結果，今回の参加へとつながった  
火振り漁に感動！ バーチャルが実体験に！

## スローライフとは？（2004.08.29）

中島敦司

### 1．スローフードからスローライフに

北イタリアのブラからはじまったのが，スローフード運動・・・ハンバーガー文化に敢然と立ち向かう「スローフード協会」の活動は，スローライフへと幅を広げていったのです。

### 2．経済成長という目的達成の犠牲になったもの

経済成長という目的達成の犠牲になったものはたくさんありますが，その代表的なものをひとつ挙げれば，地域社会です。人々が暮らしてきた地域の美しさ，誇りや地域独特の文化，人間関係などをずたずたにし，砂のようにモロイものにしてしまいました。地域社会を壊しながら，経済成長の目的に向けて突進してきました。

家族の関係もずいぶん変わりました，大家族から核家族へというように。友達関係も変わりました。公平という名の不平等。子どもの個性を活かさない教育現場での評価，家庭での評価・・・

### 3．経済は手段に過ぎない

よく考えてみると，経済は手段に過ぎないのではないかと。経済はたしかに大事でしょうが，手段のひとつです。目的ではないはず。豊かでありたい，安心して暮らす，幸せに暮らす，その手段として経済があるはず。多くの人々が，心を痛めて暮らしています。その多くは中高年です。しかもリストラされたり，職業の関係で悩んでいる人が多いようです。

こうした事実について，ある国際会議の場でフランス人から質問が出ました。「仕事はだいじだけれど，それは生きていくための手段だ。その手段がうまくいかないからと言って死んでしまう，手段のために目的（生きること）をやめてしまうというのは，いったいどういうことか」と。そう質問されて日本人の出席者は答えるのに窮したそうです。

### 4．本当の豊かさとは？

本当の豊かさとはなんですか？ あなたの人生の目的，本当の幸せ（今，未来・・・）はなんですか？ 経済成長という目的達成の犠牲になったものはたくさんありますが，地球温暖化問題，生物が滅んでいく問題，美しく・気持ちの良い風景の破壊・・・つまり，物質的な豊かと引き換えに，様々な環境問題を抱えてしまいました。衛生面は改善されましたが，様々な化学物質の影響で，健康に安全に生活することが困難になりました。豊かになるはずの手段が，私たちが健康で豊かに生きるという目的を阻害するというお話です。

本当の豊かさとはなんですか？ あなたの人生の目的，本当の幸せ（今，未来・・・）はなんですか？

私たちは，豊かな心と，豊かな環境と，豊かな経済を未来に残すために，現在のライフスタイルを見直す時期がきているのではないのでしょうか？ そのひとつのチャンスが，今回のテーマの「スローライフ」にあると考える人が増えてきたということです。

## 5. スローライフと言っても昔（の貧乏）に戻るわけではない

スローライフを实践するヒントは、まだ、地域社会や自然環境が壊れていない田舎にはあるし、昔のお話には、その実践した証拠を見ることができます。スローライフは、過去の貧しい時代に戻るということではありません。経済も環境も心も豊かな社会を目指す新しいライフスタイルが必要となってきた今、本当の豊かさとは何か？ みなさんにとっての豊かさとは何か？ 一度考えてきませんか？ それを考える際には、スピードアップされていなくては困るもの、別にそうではないもの、スピードアップされては困るもの・・・そういうものが出てくるはずですよ。スローダウンして効果のあるものもあります。かえって豊かになることもあります。環境は、皆さんがスローダウンすれば、確実に現在よりもよくなります。

ただし、スローだから良いということでもないでしょう。緩急自在という視点で考えてみてはいかがでしょうか？

## 6. 今回の経験を通じて

今回の経験を通じ、本当の豊かさ、あなたの人生の目的、本当の幸せ（今、未来・・・）、スピードアップ・・・未来についての夢を考えてみませんか？ 今回感じた、楽しさ、気持ち良さ・・・それこそ、幸せの根源かも知れません。

このような、スローなライフスタイルを实践することは、省エネ、省資源、有効利用、徹底利用につながり、しかも、太陽エネルギーを主体にすることから、地球温暖化の防止にも効果的です。地球温暖化は、皆で取り組まないとは解決できない問題です。

スローに生きて、エコロジカルに生きる。私も、今日から、出来ることから始めてみたいと思います。このような暮らしは、スピードアップで失われた地域社会、自然、人間関係を健全化させ、憂うつな現代生活から開放させることでしょう。人間社会の持続性も高めます。気負わずに、できるところから、コツコツと続けていきましょう。皆さんも私も。

余談：いい加減ところ合い、さらに身の丈

どこまでが、スローにしても納得できる効率か？ そういう視点で考えると良いと思います。

古座川は、古座川町の誇りでもあるけど、和歌山の誇りでも、日本の誇りで

もある清流！そこでの体験は、重要な意味を持つ

## 7. スローライフのキーワード

### 1) スローフード

まず食べることが挙げられます。

### 2) スローウェア

人間の基本に着るものがあります。たとえば、和服を着るとゆったりした気分になる。ゆったりした心、動きになります。材質を考えると、手織りものによさにも気づき始めています。オーガニックコットンがアトピーにいいとか。ゆっくり作られた素材のよさが注目を集めています。

### 3) スローハウス

衣食住ですから、つぎは当然住宅の話になります。いま、コンクリートの集合住宅が主流になっていますが、そこでもシックハウスなど、問題がいろいろ出てきています。

コンクリートの住宅が長持ちすると思っていましたが、必ずしもそうでもありません。木造の建物は、木の寿命とそれを使える歳月がイコールだと言われています。30年の木を使えば、30年はもちます。そういうことも含め、家のあり方を考えようということです。近年は、50年を最短とする建築が良いと、国土交通省も推奨しています。

### 4) スローエデュケーション

日本の教育では、高校に入る15歳、そして大学に入る18歳で輪切りをし、22, 23歳ごろに大学によって、だいたい人間を決めてしまいます。社会的な位置を決めてしまいます。しかし、そんなばかな話はありません。教育で、そんなに早く輪切りにして評価を決めてしまっているのかどうか、ぜったいにダメです。

人間は生涯学ぶのがほんとうの学習ではないかと思います。生涯学習ということですね。

#### 5) スローインダストリー

今は大量生産，大量消費の社会です。まさにスピードのなかでものが生産される社会です。

しかし，そのなかでゆっくり作られ使われる産業もあります。たとえば林業，農業は生産までに時間がかかります。ゆっくりした産業です。

一方，プラスチックの容器は工場ですぐに作れます。紙コップは使ったあとすぐに捨ててしまいます。しかし，焼ものは長い工程を経ます。まず土を作り，こね，窯に入れ，最後に作品ができあがります。こういうゆっくりしたプロセスがあります。

こういうものは，スローインダストリー，スロープロダクトと言えます。ゆっくり作る産業が見直されていいと思います。

#### 4) スローペース

それから，スローペースです。散歩，みちくさですね。自動車や大量輸送手段で動くこともあるでしょうが，地域をゆっくり歩く，あるいは自転車を使ってゆっくり楽しむこともあります。

とにかくペースダウンして，人生の時間の使い方を考えるということです。

注：この資料は，キャスターの筑紫哲也さんの講演資料などを参考にし，中島なりにアレンジしています。ですから，必ずしも，全てが中島の言葉ではありませんが，とても納得しているお話です。

#### 宣伝

この度，ビオトープに関する本を出版しました。できたてのほやほやです。環境問題から，スローライフに関係するようなことまで，ビオトープという語をキーワードにまとめたものでして，自信作です。よろしければ，お手に取って，内容をご確認下さい。以下で，概要は確認できます。

<http://esbooks.yahoo.co.jp/books/detail?accd=31416976>

[http://www.amazon.co.jp/exec/obidos/ASIN/4416804407/qid=1093851893/sr=1-1/ref=sr\\_1\\_8\\_1/250-8208025-1763415](http://www.amazon.co.jp/exec/obidos/ASIN/4416804407/qid=1093851893/sr=1-1/ref=sr_1_8_1/250-8208025-1763415)